

山陽新聞

つやま

作州ワイド版

TEL(0868)23-1783
TEL(0868)23-6896

構想を一部見直し 本年度中認定目指す

市中心市街地活性化協が総会

津山市中心市街地活性化協議会(浮田佐平会長)の2011年度総会が11日、同市山下の津山商工会議所で開かれ、昨年7月に市に提言した活性化構想を

一部見直し、あらためて同年度中に国の認定を目指すことを申し合わせた。

同構想をめぐっては、同協議会の提案を受けて市が10年度認定を目指して具体的な計画案を策定したものの、いまだ認定に至っていない。

新たな構想では、これまで中心としていた新魚町のアルネ・津山と京町に計画している津山ホルモンうどんなどを提供する「つやま鉄板村」(仮

称)に加え、高齢者専用賃貸住宅の建設計画が進んでいる元魚町、観光拠点となる鶴山公園周辺の4地点を、核に、町中の人口増加や観光客の回遊を目指す。シネマコンプレックス(複合型映画館)誘致も盛り込んでいる。

総会には会員ら約50人が出席。浮田会長が「地元の皆さんと一緒に息の長い活動にしたい」とあいさつ。光井俊之市産業経済部長は「認定のハードルが高まる中、活性化の実施と民間の盛り上げが不可欠」と呼び掛けた。

(久万真毅)



構想の一部見直しを申し合わせた市中心市街地活性化協議会の総会

効果が高い明確な事業

街の関係者や市内の企業、市などが09年4月

に結成。中心市街地活性化法に基づく認定が得られれば、事業に対する重点的な財政支援を受けられる。